

官報報告

丙午年四月十七日

立憲大正四年十月十日

裁決大正四年十月十日

宗義憲政久保

宮内省

農林省

仙

大臣

次官



故従一位豊臣秀吉位階追陞ノ件

四

87





故從一位 豐臣秀吉  
特旨ヲ以テ位階追陞セラレ

故從一位 豐臣秀吉  
贈正一位

右  
勅旨ヲ奉シ謹テ奏ス

(四大)



大正四年十一月三日

内閣總理大臣伯爵大隈重信

十一月四日裁可



前關白

故後一位 豐臣 秀吉

身ヲ側微ニ起シ一臂ヲ攘テ天下ノ難ヲ定メ上古  
列聖ノ鴻猷ニ率由シ奉リテ 皇威ヲ海外ニ宣揚  
ス秀吉ノ偉勲大功青史ニ赫灼タリ今其主要ナル  
モノヲ傳指スルニニアリ曰ク海内ノ平定曰ク國  
威ノ發揚曰ク 朝廷ノ尊崇是ナリ嘗ニニ事ノ

朝廷ニ関スルモノヲ挙ケレハ天正十五年三月自  
カラ持トシテ九州ヲ略シ島津氏ヲ降シテ凱旋ス

内閣

ルヤ七月入内シテ之ヲ復命シ翌十六年四月十四  
日聚樂第行幸ノ事アルヤ諸侯ヲ 御前ニ會レ

皇恩ヲ奉戴シテ力ヲ王事ニ竭クシ敢テ怠ルコト  
ナシ 皇家ノ邑敢テ侵スコトナシ関白ノ令スル

所事大小トナシ敢テ奉セサルナシトノ三事ヲ誓  
約セシメ 主上上皇共ニ 叙感斜ナラス 御製

ヲ賜ヒテ之ヲ賞セラレタリ十六日京中戸税銀地  
子五千五百三十兩ヲ以テ 禁中ノ供御ニ奉シ戸

租米地子三百石ヲ 上皇湯沐ノ邑トナシ江州高  
島郡八千石ヲ以テ廷臣ノ采邑ニ充テタリ其他前



後奉獻シタル所ノ金銀帛珍技等ニ違アラス是日  
 リ先キ京師ハ應仁ノ兵燹ニ罹リテ焦土ト化シタ  
 ル以来王室式微ニシテ宮垣ノ修理スラ未タ其  
 事アラス三條橋上ヨリ内侍所ヲ望ムコトヲ得タ  
 リト當時ノ舊記ニ載セラル織田信長ノ京ニ入ル  
 ヤ秀吉ニ命シテ宮垣ヲ築カレノ旨ニ皇運恢復  
 ノ端始メテ秀吉ノ手ニ由リテ啓カル其太政大臣  
 関白ニ任セラルバヤ前田玄以リ以テ奉行ト爲シ  
 大ニ内裏ヲ修メレノ舊來ノ地域ヲ東北ニ恢張  
 シテ其規模ヲ宏大ニシ大ニ外廊ヲ築キテ洛ノ内

## 内閣

外ヲ限リ天正十八年ヲ以テ内裏修築ノ工ヲ竣  
 一帝京ノ面目頓ニ一新セリ其駿遠以西四十五  
 箇國ノ兵ヲ擧ゲテ北條氏ヲ伐チ京都ニ凱旋シテ  
 海内ノ統一ヲ終ヘタルハ是ノ歳ニ在リ尋テ征明  
 ノ師リ興シ文禄三年八月明朝ノ使者伏見城ニ來  
 リテ冊書ヲ呈スルヤ中ニ爾ヲ封レテ日本國王ト  
 爲スノ語アルヲ聞キ其無禮ヲ怒リテ直ニ問罪ノ  
 令ヲ發シ再ニ海外ノ師ヲ進メシメタルハ咸人ノ  
 知ル所アリ慶長三年八月十八日薨シ二十九日東  
 山阿彌陀峯ノ西ニ葬ル四年四月十七日廟成ルヤ



豊國大明神ノ神號宣下アリ神階西一位ヲ賜フコ  
 ト世人ノ皆知ル所ノ如ク田一萬石ヲ給シテ社祠  
 ヲ置タル寛永十四年幕府之ヲ毀フ 後水尾天皇  
 ノ時 皇弟竟然法親王妙法院ニ在リレ新日吉社  
 シ移レテ豊國山ノ墓前ニ重修シ祀ヲ絶ヘサレシ  
 メラル明治元年 朝廷特ニ御沙汰書ヲ賜ヒテ其  
 遺烈ヲ旌シ給フ六年大佛殿址ニ祠宇ヲ再建シ八  
 月十四日別格官幣社ニ列セシメラル

内

閣